

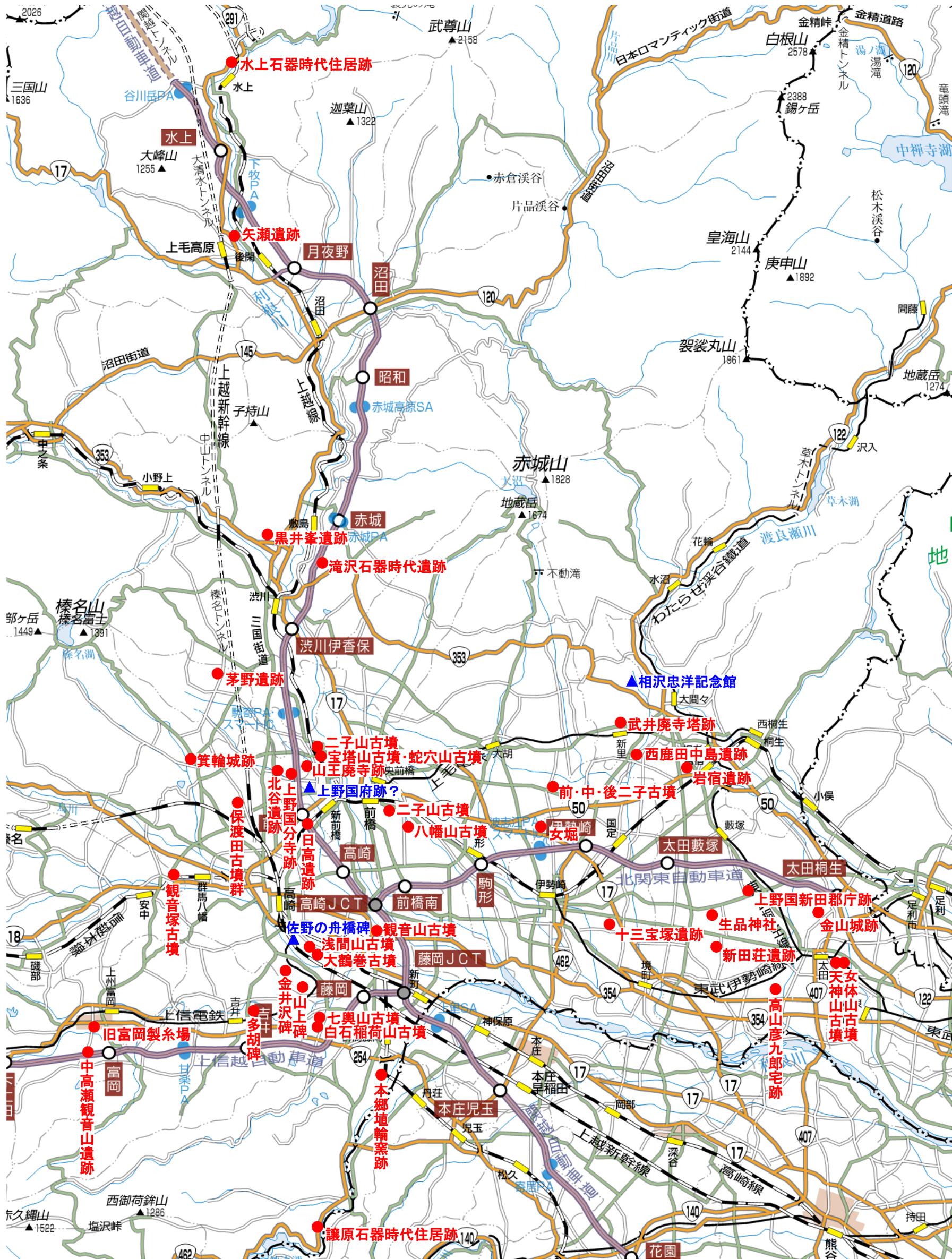
「群馬の史跡めぐり・古代編」

群馬県立女子大学教授 北川和秀

群馬県内の国指定史跡一覧

| 番号 | 名称 よみ | 所在地 | 時代 | 指定年月日 |
|----|---------------------------------|-------------|----------------|------------|
| 1 | 岩宿遺跡 いわじゅくいせき | みどり市笠懸町阿左美 | 旧石器時代 | 昭和54. 8.17 |
| 2 | 西鹿田中島遺跡 さいしかだなかじまいせき | みどり市笠懸町西鹿田 | 縄文草創期 | 平成16. 9.30 |
| 3 | 水上石器時代住居跡 みなかみせつきじだいじゅうきょあと | 利根郡みなかみ町大穴 | 縄文中期末葉 | 昭和19.11.13 |
| 4 | 滝沢石器時代遺跡 たきざわせつきじだいいせき | 渋川市赤城町見立 | 縄文早期～晩期 | 昭和 2. 4. 8 |
| 5 | 矢瀬遺跡 やぜいせき | 利根郡みなかみ町月夜野 | 縄文後期～晩期 | 平成 9. 3.17 |
| 6 | 茅野遺跡 かやのいせき | 北群馬郡榛東村大字長岡 | 縄文後期～晩期 | 平成12. 3. 7 |
| 7 | 譲原石器時代住居跡 ゆずりはらせつきじだいじゅうきょあと | 藤岡市譲原 | 縄文晩期初頭 | 昭和23.12.18 |
| 8 | 日高遺跡 ひだかいせき | 高崎市中尾町ほか | 弥生時代・平安時代 | 平成 1.11. 9 |
| 9 | 中高瀬観音山遺跡 なかたかせかんのんやまいせき | 富岡市中高瀬 | 弥生時代末期 | 平成 9. 3.17 |
| 10 | 浅間山古墳 せんげんやまこふん | 高崎市倉賀野町 | 5世紀前期～中期 | 昭和 2. 4. 8 |
| 11 | 大鶴巻古墳 おおつるまきこふん | 高崎市倉賀野町 | 5世紀前半 | 昭和 2. 4. 8 |
| 12 | 白石稲荷山古墳 しろいしいなりやまこふん | 藤岡市白石 | 5世紀前半 | 平成 5.11.30 |
| 13 | 天神山古墳 てんじんやまこふん | 太田市内ヶ島町 | 5世紀半ば～後半 | 昭和16. 1.27 |
| 14 | 女体山古墳 によたいざんこふん | 太田市内ヶ島町 | 5世紀半ば～後半 | 昭和 2. 4. 8 |
| 15 | 八幡山古墳 はちまんやまこふん | 前橋市朝倉町4丁目 | 5世紀頃 | 昭和24. 7.13 |
| 16 | 北谷遺跡 きたやついせき | 高崎市引間町 | 5世紀後半 ～6世紀初 | 平成17. 7.14 |
| 17 | 保渡田古墳群 ほただこふんぐん | 高崎市保渡田町 | 5世紀末 ～6世紀前半 | 昭和60. 9. 3 |
| 18 | 前二子古墳 まえふたごこふん | 前橋市西大室町 | 6世紀前半 | 昭和 2. 4. 8 |
| 19 | 黒井峯遺跡 くろいみねいせき | 渋川市中郷 | 6世紀中期 | 平成 5. 4. 2 |
| 20 | 七輿山古墳 ななこしやまこふん | 藤岡市上落合 | 6世紀後半 | 昭和 2. 6.14 |

| | | | | |
|----|------------------------------------|------------|-------------------|--------------|
| 21 | 二子山古墳（総社町） ふたごやまこふん | 前橋市総社町植野 | 6世紀後半 | 昭和 2. 4. 8 |
| 22 | 中二子古墳 なかふたごこふん | 前橋市西大室町 | 6世紀後半 ～ 7世紀前半 | 昭和 2. 4. 8 |
| 23 | 二子山古墳（文京町） ふたごやまこふん | 前橋市文京町3丁目 | 6世紀後半 ～ 7世紀初 | 昭和 2. 6. 14 |
| 24 | 観音山古墳 かんのんやまこふん | 高崎市綿貫町 | 6世紀末～7世紀初 | 昭和48. 4. 14 |
| 25 | 本郷埴輪窯跡 ほんごうはにわかまあと | 藤岡市本郷 | 6世紀～7世紀前半 | 昭和19. 11. 13 |
| 26 | 後二子古墳ならびに小古墳 うしろふたごこふんおよびしょうこふん | 前橋市西大室町 | 7世紀前半 | 昭和 2. 4. 8 |
| 27 | 観音塚古墳 かんのんづかこふん | 高崎市八幡町 | 7世紀前半 | 昭和23. 1. 14 |
| 28 | 山上碑および古墳 やまのうえひおよびこふん | 高崎市山名町 | 681年 | 大正10. 3. 3 |
| 29 | 蛇穴山古墳 じゃけつざんこふん | 前橋市総社町総社 | 7世紀後半 | 昭和49. 12. 23 |
| 30 | 山王廃寺跡 さんのうはいじあと | 前橋市総社町総社 | 7世紀後半以降 | 昭和 3. 2. 7 |
| 31 | 宝塔山古墳 ほうとうざんこふん | 前橋市総社町総社 | 7世紀末 | 昭和19. 11. 13 |
| 32 | 上野国新田郡庁跡 こうずけのくににいたぐんちょうあと | 太田市天良町 | 7世紀後半 ～ 9世紀前半 | 平成20. 7. 28 |
| 33 | 多胡碑 たごひ | 多野郡吉井町大字池 | 天武10年 (711年) | 大正10. 3. 3 |
| 34 | 金井沢碑 かないざわひ | 高崎市山名町 | 神亀3年 (726年) | 大正10. 3. 3 |
| 35 | 上野国分寺跡 こうづけこくぶんじあと | 高崎市東国分町 | 天平13年以降 (741年) | 大正15. 10. 20 |
| 36 | 武井廃寺塔跡 たけいはいじとうあと | 桐生市新里町武井 | 奈良時代 | 昭和16. 1. 27 |
| 37 | 十三宝塚遺跡 じゅうさんぼうづかいせき | 伊勢崎市境伊与久 | 8世紀後半頃 | 昭和63. 1. 11 |
| 38 | 女堀 おんなぼり | 伊勢崎市下触町ほか | 12世紀半ば | 昭和58. 10. 27 |
| 39 | 新田荘遺跡 にいたのしょういせき | 太田市新田反町町ほか | 中世 | 平成12. 11. 1 |
| 40 | 生品神社境内（新田義貞拳兵伝説地） いくしなじんじゃけいだい | 太田市新田市野井町 | 鎌倉末期 | 昭和 9. 3. 13 |
| 41 | 金山城跡 かなやまじょうあと | 太田市東金井町ほか | 室町時代 | 昭和 9. 12. 28 |
| 42 | 箕輪城跡 みのわじょうあと | 高崎市箕郷町東明屋 | 戦国時代 | 昭和62. 12. 17 |
| 43 | 高山彦九郎宅跡 附遺髪塚 たかやまひこくろうたくあと | 太田市細谷町 | 江戸時代 | 昭和 6. 11. 26 |
| 44 | 旧富岡製糸場 きゅうとみおかせいしじょう | 富岡市富岡 | 明治5年 (1872年) | 平成17. 7. 14 |



* 上野三碑
山ノ上碑



所在地 高崎市山名町山神谷
年代 天武十年（六八一）
材質 自然石輝石安山岩
高さ 一二〇センチ
幅 五〇センチ
厚さ 五〇センチ



【釈文】

辛巳歳集月三日記
佐野三家定賜健守命孫黒売刀自此
新川臣兒斯多々弥足尼孫大兒臣娶生兒
長利僧母為記定文也 放光寺僧

【訓読文】

辛巳の歳集月三日記す。佐野の三家と定め賜ひし健守命の孫黒売刀自、此れ新川臣の兒斯多々弥足尼の孫大兒臣に娶ひて生める兒、長利僧、母の為に記し定む

る文也。放光寺の僧なり。

健守命 | 黒売刀自



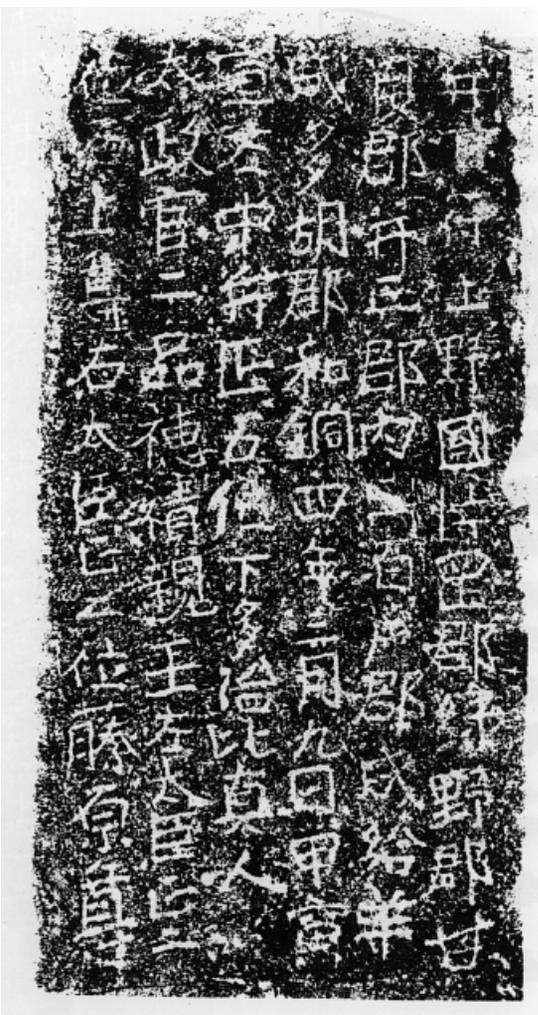
新川臣 | 斯多々弥足尼 | 大兒臣



多胡碑



所在地 多野郡吉井町池
年代 和銅四年（七一）
材質 牛臥砂岩
（碑身）
高さ 一二五・五センチ
上幅 六〇センチ
下幅 六三センチ
（笠石）
高さ 二五・五センチ
軒幅 八八・五センチ



【釈文】

弁官符上野国片岡郡緑野郡甘
良郡并三郡内三百戸郡成給羊
成多胡郡和銅四年三月九日甲寅
宣左中弁正五位下多治比真人
太政官二品穂積親王左大臣正二
位石上尊右大臣正二位藤原尊

【訓読文】

弁官の符に、「上野国片岡郡、緑野郡、甘良郡、并せて三郡の内三百戸を郡と成し、羊に給ひて、多胡郡と成す」とあり。和銅四年三月九日甲寅の宣なり。左中弁正五位下多治比真人、太政官二品穂積親王、左大臣正二位石上尊、右大臣正二位藤原尊なり。

参考

上野国甘良郡の織裳・韓級・矢田・大家、緑野郡の武美、片岡郡の山等の六郷を割きて、別に多胡郡を置く。続日本紀和銅四・三・六

上野国に在る新羅人子午足等一百九十三人に姓を吉井連と賜ふ。

続日本紀 天平神護二・五・八

金井沢碑



所在地

高崎市山名町金井沢

年代

神龜三年（七二六）

材質

自然石輝石安山岩

高さ 一一〇センチ

幅 七〇センチ

厚さ 六五センチ

【釈文】

上野国群馬郡下賛郷高田里
三家子孫為七世父母現在父母
現在侍家刀自池田君目頼刀自又児加
那刀自孫物部君午足次駄刀自次乙駄
刀自合六口又知識所結人三家毛人
次知万呂鍛師儀部君身麻呂合三口
如是知識結而天地誓願仕奉
石文
神龜三年丙寅二月廿九日

【訓読文】

上野国群馬郡下賛郷高田里の三家の子孫、七世の父母・現在の父母の為に、現在侍る家刀自、池田君目頼刀自、又児加那刀自、孫物部君午足、次に駄刀自、次に乙駄刀自、合せて六口、又知識に結べる人、三家毛人、次に知万呂、鍛師儀部君身麻呂、合せて三口、如是知識に結びて天地に誓み願ひ仕へ奉る石文。
神龜三年丙寅二月廿九日

参考

上野国甘楽郡の人外大初位下儀部牛麻呂ら四人に姓を物部公と賜ふ。

